

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の共通施設としての放射性廃棄物の廃棄施設に係る令和4年度定期事業者検査（終了報告）についての面談
2. 日時：令和5年1月11日（水）10時00分～10時50分
3. 場所：原子力規制庁2階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部 検査グループ 専門検査部門
松本主任原子力専門検査官、千葉主任原子力専門検査官、小野原子力専門検査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所バックエンド技術部高減容処理技術課長 他7名
安全・核セキュリティ統括部安全・核セキュリティ推進室 2名
5. 要旨
 - 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）から、原子力科学研究所の共通施設としての放射性廃棄物の廃棄施設の定期事業者検査（終了報告）について、資料に基づき説明があった。
 - ・令和4年10月20日から開始した放射性廃棄物の廃棄施設に係る定期事業者検査は令和4年12月15日に終了した。
 - ・今回の定期事業者検査において、処理すべき事項はなかった。
 - ・JAEAでは設備・機器の保全重要度とこれに基づく検査区分等の見直しについて検討を行い令和4年6月に結果をまとめた。これを踏まえ、今回の定期事業者検査から保全重要度及び検査項目の変更を行った。
 - ・令和4年8月22日に実施した令和4年度定期事業者検査報告（開始時）の面談において指摘を受けた「保全重要度の見直しに伴い検査項目を変更したものについて、技術上の基準への適合性の維持状況をどう判断するのかに係る適切性について整理すること。」については、技術上の基準への適合性について記録確認検査にて確認している。
 - ・新規基準適合のための工事進捗に伴い、一部の設備について定期事業者検査対象より除外した。
 - 原子力規制庁から、以下の内容を伝えた。
 - ・今年度の定期事業者検査結果については了解した。
 - ・施設管理実施計画の施設保全整理表において定期事業者検査に使用した検査要領書が特定できるよう整理すること。

○ JAEA から、承知した旨の回答があった。

6. その他

資料：原子力科学研究所の共通施設としての放射性廃棄物の廃棄施設 定期事業者検査の終了報告について

以 上